

## 研究委託校・実践校の紹介

### 豊浦町立豊浦中学校

公開研究会▶ 11月22日(火)

書くことと説明することを苦手としている生徒が多いという本校の実態を踏まえ、「授業改善」と「読書活動」という複数の視点から、今年度から新たに設定した研究主題に迫ります。

「授業改善」では、「意見と理由を区別して書くこと」や「話し合いの結果を発表する場面の設定」等、年度ごとのテーマで授業を行います。語彙力向上を目的とした「読書活動」では、玄関に新聞を置いて生徒の目に触れる機会を増やしたり、生徒が作成する新聞クイズを行ったりしています。また、ブックトークの実施に向けて朝読書の改善を図っています。

自らの思考を整理し、  
表現できる生徒の育成

～「書くこと」と「説明すること」を位置づけた  
授業改善と読書活動の工夫を通して～



◀ 1年 英語科  
友人からのアドバイスを受けて、  
発表原稿を書き直しているところ

生徒玄関に設置されている新聞閲覧台 ▶



### むかわ町立宮戸小学校

公開研究会▶ 11月25日(金)

本校では、令和2年度より「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導法の研究」を主題として、研修に努めてまいりました。

1年次は教科を特定せず、研究主題に迫るための指導法はどのようなものかを授業研究を通して模索しました。2年次は副題を「複式学級における個別最適な学び、協働的な学びを目指して」とし、研修を進めました。そして3年次である今年度は、算数科を研修の窓口とし、極少人数学級における、ICT機器の使用目的を明確にした、効果的な指導法について研修を進めているところです。

「主体的・対話的で深い学び」の  
実現に向けた指導法の研究

～極少人数学級における個別最適な学び、  
協働的な学びの向上を目指して～



◀ 3年生 算数科  
「あまりのあるわり算」  
タブレットを使って  
自学学習をしているところ

5年生 算数科  
「小数のわり算」  
児童一人一人が課題解決に向けて取り組んでいるところ ▶



## 厚真町立厚真中学校

### 今年度の公開研究会はなし

本校では、学び合いを通じた対話力やつながる力の育成、振り返り活動に重点をおいた授業改善により、主体的に学習の取り組む態度や対話力の育成を研究内容としています。

また、小中一貫教育において「ふるさと教育」に取り組んでおり、厚真町の多様な教育資源を活用し、厚真町の未来につながる教育活動の実現を目指しています。

「英語教育」では、厚真町のよさを発信する表現力の育成、実践的なコミュニケーション力の育成等を目的とし、ふるさと教育と連携したカリキュラムの開発（APR=厚真PR）等に取り組んでいます。

### 主体的に学び、他者と高め合う 生徒の育成



◀2年 理科  
「還元」  
実験の様子をタブレット端末で記録撮影しているところ



3年 総合  
「ふるさと学習」  
町内の事業所に取材しているところ ▶

## 安平町立安平小学校

### 今年度の公開研究会はなし

本校では、国語科と算数科を研究領域とし、今年度は2年計画の2年次となります。

研究主題の「確かな学力」を身に付けさせるために、特に「主体的な学び」に視点をしぼり、研究を進めています。

「学ぶ意欲」から「学ぶ意思」へ変えていくために、興味関心を刺激する様々な工夫を取り入れ、見通しを持ち、粘り強く課題に取り組み、学んだことを自分自身で振り返ることで、次の学習につなげています。

授業では、単元の学習計画と振り返りが一体化したワークシートを活用するなどの実践をしています。

### 「確かな学力」を身に付ける子の育成

～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業作りを通して～



◀2年 算数科  
「ひき算の筆算」  
一体化のワークシート



6年 算数科  
「資料の調べ方」  
話し合いをしているところ ▶



# 白老町立白老小学校

## 今年度の公開研究会はなし

本校では、秋田型授業をモデルとした「問題解決的な探究型の学習」を通して、国語科、算数科、自立活動の授業づくりを中心に授業改善を行っています。

昨年度まで取り組んできた研修の成果と課題をもとに、今年度は主体的・対話的で深い学びの視点を重視した指導と、ICTの活用を中心として研修を進めています。各種調査の分析から明らかになった課題から、ブロックごとに授業や日常で取り組めることを明確にし、校内授業研で実践する中で授業改善につなげていけるよう、研修を深めています。

## 一人一人の学びをつなぎ、 個別最適な学びを目指した授業づくり

～「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して～



2年 算数科  
「たし算とひき算」  
終末に適用問題を  
する時間を確保  
して、技能の定着  
を図っている。

5年 国語科  
「たずねびと」  
自分の考えを書  
き、グループで交  
流しているところ



## 5分間ミニ研修

## 文部科学省CTBシステム (MEXCBT: メクビット) をご存じですか？

朝学習や家庭学習などを端末で行うにあたって、よいサイト、システムはないかと探されたことがある先生方も多いのではないのでしょうか。

文部科学省では、GIGAスクール構想により、児童生徒1人1台端末環境が整備されたことを踏まえ、児童生徒が学校や家庭において、国や地方自治体等の公的機関等が作成した問題を活用し、オンライン上で学習やアセスメントができる公的CBT (Computer Based Testing) プラットフォームである「文部科学省CBTシステム (MEXCBT: メクビット)」の開発・展開を進めて

います。

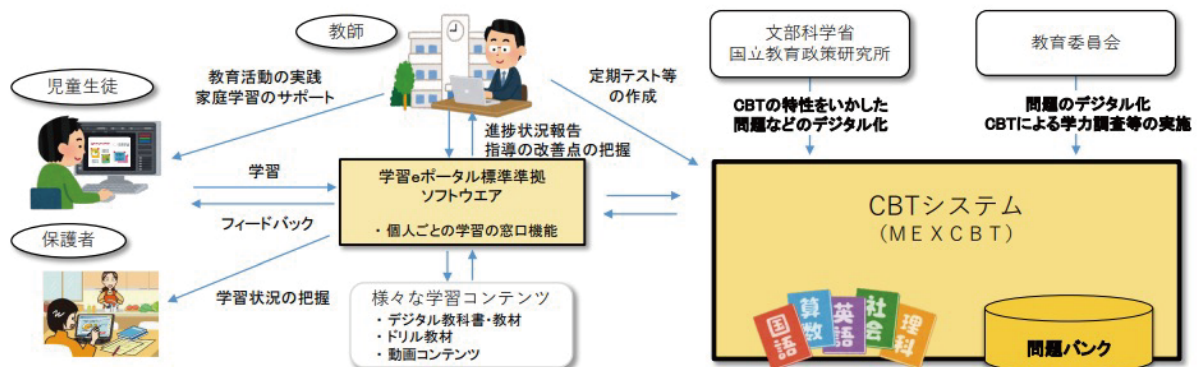
全国どこの学校でも登録、活用することができ、現在1.1万校、420万人の児童生徒が登録しています。

北海道の登録割合を見ると全体の27%と、まだまだ少ないようです。

今後、全国学力調査などでの利用も検討されているようです。一度概要をご覧くださいはいかがでしょうか。



【文部科学省HP】 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/mext\\_00001.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00001.html)



令和4年度  
胆振教育研究所

## 今年度の研究について

今年度の「調査課題研究」の内容について紹介します。  
＜今年度の調査＞学習評価に関する取組の調査

### 第1回アンケート（7月）

室蘭市・苫小牧市を除く、胆振管内すべての小・中学校および義務教育学校を対象に、各校の学習評価に関するアンケート調査を実施しました。教務主任、研究部長など、各校において学習評価について詳しく理解している方に回答を依頼しました。

### 第2回アンケート（11月予定）

第1回アンケートを実施した学校を対象に、学習評価の実際や課題に関するアンケート調査を実施する予定です。授業を担当しているすべての先生に回答を依頼します。

考察を加え、調査課題研究紀要として発行する予定です。（2月末）

7月に実施したアンケートでは、多くの学校にご回答いただきました。誠にありがとうございます。  
11月、授業を担当するすべての先生を対象に2回目のアンケートを実施します。お忙しい中とは存じますが、ご協力よろしくお願いたします。

令和4年度  
胆振教育研究所

## 冬季研修講座のご案内

- 講座のテーマ：通常学級に在籍している特別支援的配慮が必要な児童生徒の支援について
- 日 時：令和5年1月10日(火)
- 形 式：会場とZOOMのハイブリッド方式
- 対 象：小・中学校の教員
- 内 容：アセスメントについて
- 講 師：高杉 祐之 氏（江別市立大麻小学校教諭）



※詳細につきましては、後日送付する要項をご覧ください。

### 【研修講座 問い合わせ先】

胆振教育研究所 所員（登別市立緑陽中学校 主幹教諭 永井 久） TEL0143-85-5409